



横浜相原病院

NEWS



精神科病院のニュースレター



掲載内容

院長紹介
新入職医師紹介

活動通信:医療療養病棟
ココロのサプリ

認知症疾患医療センター
精神科デイケア
S A S ってなあに？

グループホームあいちゃんの家
通所リハビリテーション
訪問リハビリテーション
編集後記

院長紹介

ふじと たつま
藤渡 辰馬 院長



はじめまして

令和3年4月より院長に就任致しました藤渡でございます。

「名病院」というよりは、愛し愛される心を持った“良病院”と呼ばれるよう、地域医療に貢献していきます」との開院からの理念を受け継ぎつつ、地域に寄り添い時代のニーズに応えられるよう、全職種で協力し取り組んでまいります。

直近の新たな取り組みとして、令和3年6月より医療療養病棟36床を新規開設いたしました。

今後ともよろしくお願いたします。

新入職医師紹介

三浦 裕介 (ミウラ ユウスケ) 医師

出身地: 秋田県

趣味: 読書、温泉

地域の皆様へ一言

この度、縁あって横浜相原病院で勤務させていただくことになりました。少しでも皆様のお役に立てるよう尽力できればと思います。



田川 暁一 (タガフ セイイチ) 医師

出身地: 神奈川県

趣味: 軟式テニス

地域の皆様へ一言

少しでもお役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



江口 万城 (エグチ マキ) 医師

出身地: 鹿児島県

趣味: 散歩、音楽、水泳

地域の皆様へ一言

暖かい医療を目指し、地域の精神科医療に貢献出来るよう尽力してまいります。



活動通信

4A病棟：6月から医療療養病棟になりました！よろしくお願いたします！

広報誌をお読みの皆様、初めまして。4A病棟です。横浜相原病院は、精神科の枠組みを超えて新しい病棟運営を始めています。

医療療養病棟とは、慢性期（病状が安定している時期）の患者様を対象に、長期間の療養が出来ることを目的とした医療ケアやリハビリのサービスを提供する病棟です。皆様は、「一般病院」という言葉をよく耳にされるかと思いますが、一般病床と療養病床の違いを簡単にいうと、一般病床は「今必要な治療を提供する病棟」です。

療養病床は「療養生活を支援する病棟」です。具体的に治療のステージや設備、職員体制が違います。医療療養病棟は「慢性期」の患者様が対象となります。慢性期は病状が安定しています。しかし、在宅で暮らすことは困難で日常的な医療ケアが必要な状態です。

今回、医療療養病棟に入院する患者様のために、病棟すべてのベッドを電動機付きベッドに交換して入院環境を改善いたしました。長期で入院される患者様に快適な環境を提供出来るよう、スタッフ一同患者様をお待ちしております。



病棟一覧

看護基準		作業療法室 精神科デイケア
25・1 (1A)	4A医療療養病棟 36床(個2床)	4B特殊疾患病棟 閉鎖 48床(保2床)
20・1 (2A・3A・3B・4A・4B) 13・1(1B・2B)	3A特殊疾患病棟 閉鎖 52床(保2床)	3B特殊疾患病棟 閉鎖 47床(保2床)
リハビリ室	2A認知症治療病棟 I 閉鎖 46床(保2床)	2B精神一般病棟 閉鎖 38床(保4床)
居宅介護支援事業所	1A精神療養病棟 閉鎖 51床(保2床)	1B精神一般病棟 閉鎖 25床
ピュアライフ 通所リハ	外来・精神科訪問看護	グループホーム あいちゃんの家

コロナ感染対策

当院受診・来院の際は

マスク着用

入り口での検温と

体調チェック表の

ご協力を

お願いいたします。

ココロのサプリ

ストレスとのお付き合い

少し前から「ストレスは“解消”するものじゃない、“マネジメント”するものだ！」と熱く語られるようになりました。「ストレスが溜まってしまった」と受け身の姿勢ではなく、「より良く、より自分らしく過ごせるように積極的にストレス対処をしていこう」という意識改革が始まっているようです。

ストレスマネジメントには主に6つの方法があります。

- (1)：感情を表出する
- (2)：ストレス原因解決を目指す
- (3)：考え方を柔軟にする
- (4)：周囲に援助を求める
- (5)：身体の健康を向上させる
- (6)：気晴らしをする

多くの方は原因の根本解決や

(2)「仕事は辛いけど経験が積めるから頑張ろう」とストレスのとらえ方の変化
(3)を目指すのではないのでしょうか。

対処法が増えるほどマネジメントは安定し、様々な場面に対応できるようになります。うまくいかない時は自分がよく使うパターンを知り、その他の対処も取り入れてみると良いかもしれません。

認知症疾患医療センター

ご挨拶

当センターは、令和2年12月より横浜市認知症疾患医療センター事業を受託するに至り、認知症が疑われる方の診察・鑑別診断を身体精査も含めて行い、地域のかかりつけ医の先生方にフィードバックし連携サポートしていただけるよう開設いたしました。

近年、日本では少子高齢化が進み、認知症がどのような経過をたどるどのような社会制度が利用でき、どのようなサポートが受けられるのか、など知っておくべき知識は多岐にわたっております。

物忘れ検診

当院はもの忘れ検診を実施しています、65歳以上の横浜市民の皆様は無料となります。

電話でお申し込みください。

当センターで検査・診断もさることながら、おひとりおひとりの相談に可能な限り丁寧にお応えするべく、医師・看護師・ソーシャルワーカーなど多職種で取り組みをしています。お一人で悩みを抱え込まずどうぞお気軽にご相談ください。

【相談窓口】

時間：9:00~17:00(平日)
電話：045-270-8059(直通)
受付地域：瀬谷区・泉区
担当者：石井・宮山・木下

※担当者不在の場合は地域連携室の相談員が対応させていただきます。



精神科デイケア

活動内容

当院には精神科デイケアが併設されております。精神科デイケアとは、精神的な不調を抱えた方が様々なプログラムを通して集団活動を行うことで、症状の回復や、社会参加に必要な技能の向上を目指すところです。最近では感染対策を協力して行いながら、集団での話し合いや疾患に関する講習、パソコン作業に加え、創作活動やカードゲーム、ダーツなどの趣味の活動にも盛んに取り組んでいます。

最近では園芸クラブで手入れをしている畑で夏野菜が徐々に育ってきました！自然と触れ合うことは、心や身体の癒しになると言われており、特に最近家で過ごすことが多くなってきている方には、貴重な機会になっているのではと思います。

興味のある方は、当院主治医にご相談いただくか下記窓口にご連絡ください。

【相談窓口】

時間：8:45~17:30(平日)
電話：045-360-6730(直通)
担当者：沼田

SASってなに？

睡眠時無呼吸症候群の検査は当院で行っています♪

睡眠時無呼吸症候群ってどんな病気？

睡眠時無呼吸症候群（Sleep Apnea Syndrome: SAS【サス】）は、眠っている間に呼吸が止まる病気です。寝ている間の無呼吸のため、なかなか気付くことができず、検査・治療を受けていない多くの潜在患者が日本では300万人いると推計されています。

この病気が深刻なのは、寝ている間に生じる無呼吸が、起きていたときの活動に様々な影響を及ぼすことです。生活習慣病と密接に関係しており、放置すると生命の危険に及ぶこともあります。また、SAS特有の眠気は交通事故を起こす危険もあり、早期に適切な治療をすることが大切です。



どんな症状？

寝ている間

- ◎いびきをかく ◎いびきが止まり、大きな呼吸とともに再びいびきをかく ◎呼吸が止まる ◎呼吸が乱れる ◎むせる ◎呼吸が乱れ、息苦しさを感ずる ◎何度も目覚める ◎寝汗をかく

起きた時

- ◎口が渇いている ◎頭が痛い、ズキズキする ◎むせる ◎熟睡感が無い ◎すっきり起きられない ◎体が重いと感ずる

起きているとき

- ◎強い眠気がある ◎だるさ、倦怠感がある ◎集中力が続かない ◎いつも疲労感がある

グループホームあいちゃんの家

みなさん こんにちは！ グループホーム あいちゃんの家です。
グループホームとは？

令和2年3月1日にオープンして1年半近く経ちました。現在7名の入居者（もうすぐ8名になります）で楽しく生活しています。
簡単に説明すると、共同生活援助（グループホーム）といえます。日常生活や自立した生活が送れるように援助を行い、その他の日常生活上の相談、援助も受けられる障害福祉サービスです。
「孤立の防止や生活への不安の軽減、共同生活による身体・精神状態の安定など」を目的としています。

対象者となる方は

主に精神疾患・知的障害者の方で生活のサポートを受け
『自立を目指せる人』となっています。

あいちゃんをスタッフは

サービス管理責任者、世話人、生活支援員

『すべてが横浜相原病院の職員です』

メンタルヘルスのスペシャリストに、どうぞ安心しておまかせください。



今秋

グループホーム 「ハイツみやび壺番館」 新たにOPEN予定です！

よろしくおねがいします！



担当：サービス管理責任者 古口・小野塚



通所リハビリテーション 訪問リハビリテーション

介護保険分野で行っている当院付帯事業です！

誰が使えて どんな事をするところ？

介護保険で要支援1~2要介護1~5と認定された方が利用できるリハビリ施設です。

ご利用者様の心身・生活活動の維持・向上、社会活動への参加、医学的管理、家族支援を行っています。

要支援・要介護状態になった時に、介護する側も介護される側もお互いが安心して日常生活が出来るよう、リハビリや介護支援によって自立の手助けをさせていただき送迎付き通い型の施設です。

また通いたくなるような施設を目指し、

楽しめるリハビリプログラムや明るいスタッフが皆様を心も体もポジティブになれるよう応援しています！

体験・見学等いつでも受け付けていますので、お気軽に連絡を！

担当：大塚・小野塚

電話

045-362-7154（直通）



介護保険認定された方で、ご自宅でのリハビリが必要な方ならどなたでもご利用いただけます。

訪問リハビリでは、日々の生活の中で、病気やケガ、加齢による身体機能の低下によりご自宅での生活が困難になってしまった方。

自分で出来る事を増やし、より快適な生活を送りたい方。

これらの方々に対し、専門の療法士が身体機能の回復・維持を図り、日常生活の自立や社会参加を支援するためのリハビリを行います。

興味のある方は、是非、当院 訪問リハビリ迄お問い合わせください。



編集後記

当院初の広報誌「横浜相原病院 NEWS」をお届けしました。

当院の広報委員会で力を合わせて作りあげました。

取材にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

そして読者の皆様、どうか最後まで読んで頂き感想などお寄せ頂けたらと思います。

これからも「！地域のためになる！」をモットーに精進してまいります。

次号は「2021年/VOL.冬」です。次回もお楽しみに〜。

横浜相原病院 広報委員会